

株主のみなさまへ

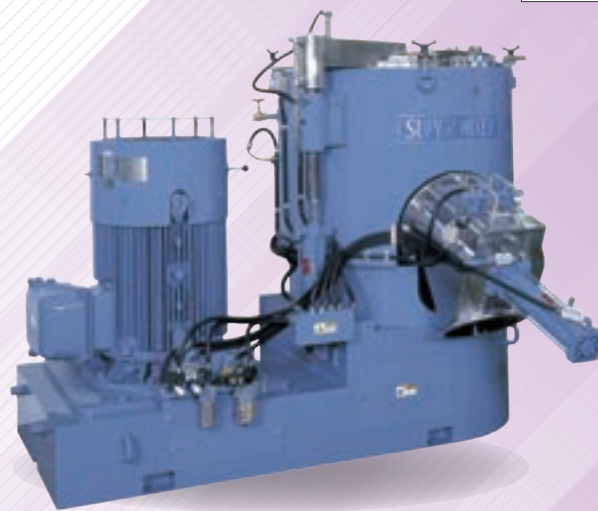
## KAWATA IR Report

## 第76期中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日

株式会社 カワタ

証券コード 6292



スーパーミキサー 高速流動混合機

## TOP MESSAGE

現場第一主義を基本姿勢とし、創業以来培ってきた技術を基に、お客様の生産活動の改善につながる提案と、お客様に喜んでいただける製品・サービスを提供することにより、世界の人々のより豊かで安全な暮らしに貢献します。

代表取締役社長 白石 亙

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社の第76期中間報告書をお届けいたします。足元は厳しい経営環境ですが、成長戦略の実行と企業体質の改善に取り組み、中長期的な株主価値向上に努めてまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年12月4日



## 当中間期の業績

- 世界経済は、欧米の高インフレの鎮静化から底堅さがある一方、中国の景気減速、ウクライナなど紛争の地政学的リスクの高まりにより、不透明な状況で推移。日本経済も、緩やかな回復基調にあるが軟調に推移。
- 自動車業界向けを中心とした射出成形関連の受注低迷に加え、中国における電気自動車（EV）向けのリチウムイオン電池関連の投資が一服したことにより、売上高19.9%減、受注高は10.2%減、受注残高21.6%減となった。
- 営業利益：売上総利益の低下と販管費の増加はあったが、売上総利益率の改善により286百万円となった。経常利益：為替差益の減少により289百万円となった。親会社株主に帰属する中間純利益：固定資産売却益22百万円、固定資産除売却損6百万円、法人税住民税及び事業税160百万円などにより139百万円となった。

## 今後の見通し

- 世界経済は、中国の景気減速、主要国での選挙に伴う政策変更、ウクライナ等、地政学的リスクにより不透明感が高まっている。
- 自動車関連業界の技術革新や、社会変化に伴う通信機器拡大、AI、IoT、5G等のデジタル化推進の動きへの確に対応していくとともに、既存市場での販売拡大と収益力向上等に取り組んでいく。
- 環境問題に対しては、自社の事業活動及びお客様の生産現場、製造物を通じて貢献し、透明性の高い企業統治（コーポレートガバナンス）等を実現していくことで脱炭素、使い捨てプラスチックの削減を推進する。

業績及び見通しの詳細な情報につきましては、10月31日発表の決算短信等をご覧ください。  
<https://www.kawata.cc/information/ir/16399/>



# 地域別の概況

## 日本

売上高 6,817百万円 / 営業利益 445百万円

売上構成比 64.7%

売上高 (単位:百万円)

第75期中間	第76期中間
8,007	6,817

自動車部品関連は回復の兆しがあったが、電気自動車 (EV) 向けのリチウムイオン電池関連 (LIB) が低迷したため減収。

## 東アジア

売上高 2,586百万円 / 営業損失 83百万円

売上構成比 24.5%

売上高 (単位:百万円)

第75期中間	第76期中間
3,962	2,586

電気自動車 (EV) 向けのリチウムイオン電池関連 (LIB) が低迷し、レンズ関連の需要は一巡も拡大せず減収。

## 東南アジア

売上高 997百万円 / 営業損失 19百万円

売上構成比 9.5%

売上高 (単位:百万円)

第75期中間	第76期中間
1,006	997

国によってばらつきがあるものの、自動車業界向けの受注が低調だったため全体では微減。

## 北中米

売上高 136百万円 / 営業損失 52百万円

売上構成比 1.3%

売上高 (単位:百万円)

第75期中間	第76期中間
198	136

絶対額が少ないなか、受注案件の大きさによる影響で減少。

※各セグメントの数値は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

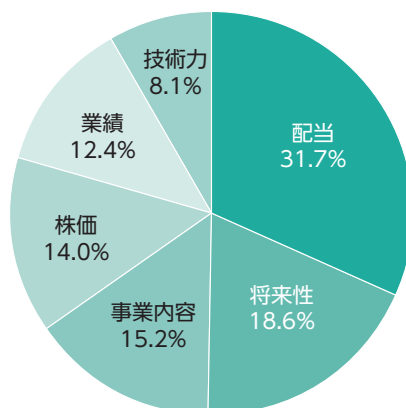
# TOPICS

## 株主アンケート結果のご報告

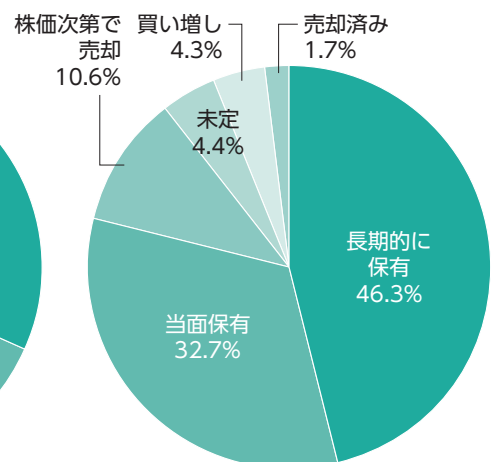
2024年3月31日時点で当社株式を100株以上保有する株主のみなさまを対象にアンケートを実施しました結果、1,265通の回答をいただきました。お寄せいただいたご回答のなかから一部をご報告いたします。

アンケートにご協力くださいましたみなさまには、心よりお礼申し上げます。

### 購入理由 (複数回答)



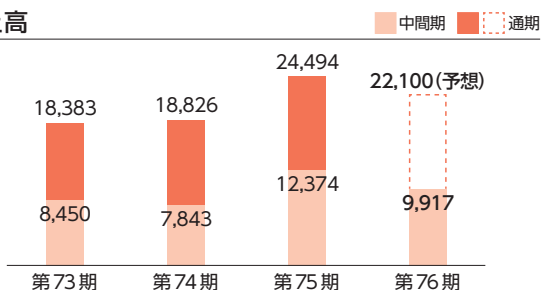
### 今後の方針



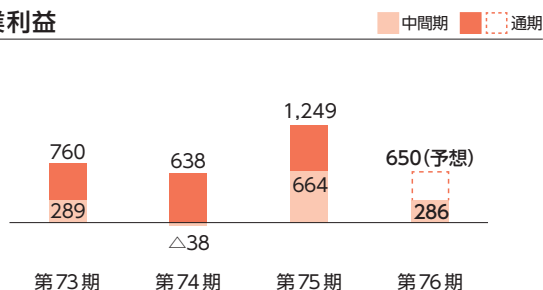
# 連結財務ハイライト

単位:百万円 / 1株当たり純利益のみ単位:円

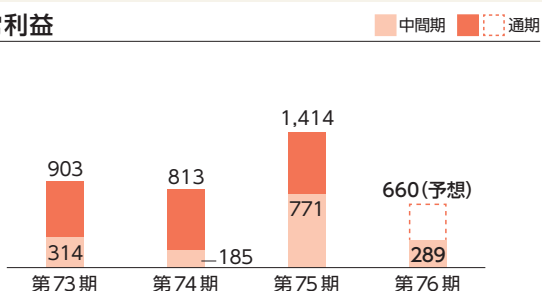
## 売上高



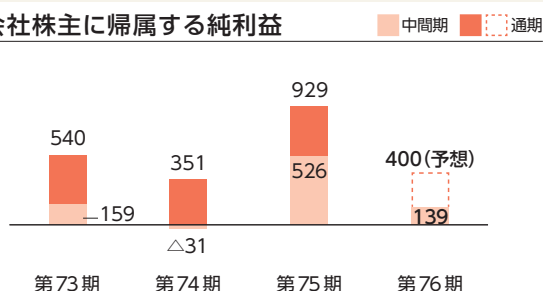
## 営業利益



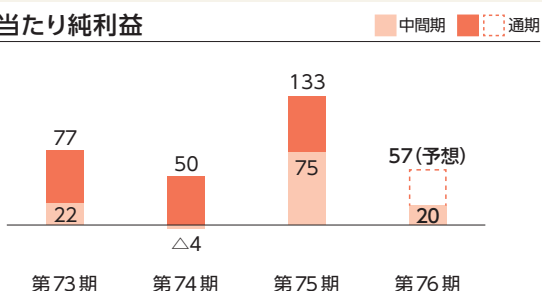
## 経常利益



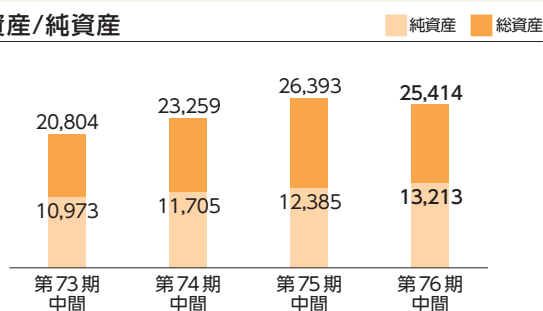
## 親会社株主に帰属する純利益



## 1株当たり純利益



## 総資産/純資産

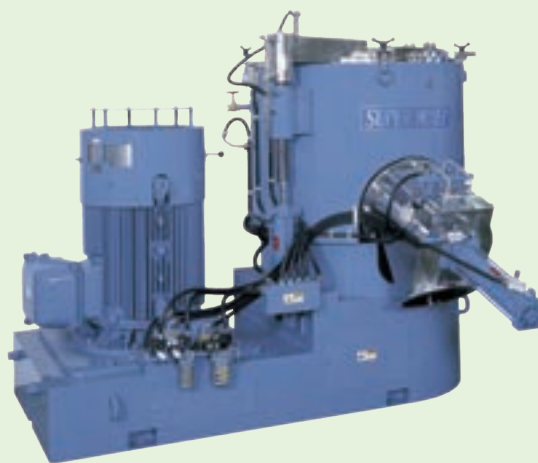


## 食品分野への取組み

- 2024年9月に一般社団法人日本食品機械工業会に入会し、主力商品である「スーパーミキサー」を中心に、その前後の輸送・計量システムを含め食品分野の更なる市場開拓に注力してまいります。

### 食品分野での主な使用例

- ① プレミックス粉の製造（ホットケーキ粉、から揚げ粉、お好み焼き粉など）
- ② 製菓原料の混合（水あめ、砂糖、香料など）
- ③ 米粉の粉碎・混合



スーパーミキサー 高速流動混合機

